

政策09

豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】

【政策別未来像】 自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている

●政策指標

・市民の実感指標

指標名	基準値
環境にやさしい行動をしていると思う市民の割合（％）	76.5 [R 6年度]

・客観指標

指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市全体の温室効果ガス排出量（万t-CO ₂ ）	392 [R 3年度]	317 [R 9年度]

●未来像を実現するために求められる視点

- ・脱炭素型ライフスタイルの推進
- ・再生可能エネルギー等の導入
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進
- ・環境の保全（廃棄物の不法投棄や不適正処理の未然防止に向けた監視と早期対応、合併処理浄化槽の普及による汚水の浄化等）
- ・生物多様性の保全と回復
- ・環境教育・啓発による意識の向上

●未来像の実現に向けて皆さんに取り組んでほしいこと

【市民】

- ・家庭から出るごみの量を減らし、分別・再利用を徹底する。
- ・省エネ家電や再エネ電力を積極的に使う。
- ・できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する。
- ・地域の美化活動に協力する。
- ・松山の自然に関心を持ち、その恵みを実感する。

【事業者】

- ・廃棄物を適正に処理する。
- ・脱炭素社会の実現につながる再生可能エネルギーの利用や省エネ設備の導入などを進める。
- ・大気や水質保全のための活動などを通して地域環境へ配慮する。

【関係団体】

- ・市民が松山の自然に触れる機会をつくる。
- ・環境に関する様々な課題を市民に分かりやすく解説し、学ぶ機会をつくる。

●施策

施策091：脱炭素・循環型まちづくりの推進

●施策のねらい

- ・ 地球温暖化の防止と持続可能な社会の実現に向け、市内一丸となって脱炭素化に取り組みます。
- ・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を進めるとともに、廃棄物の適正処理を進めます。

●主な取組

(1)温室効果ガスの削減（0911）

再生可能エネルギー等の導入や脱炭素型ライフスタイルへの転換策、産業・家庭・運輸等への対策など、温室効果ガスの削減が期待される取組を進めます。

(2)3Rの推進（0912）

食品ロスの削減をはじめとしたごみの発生を抑制する（リデュース）とともに、限られた資源の再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めます。

(3)ごみの適正処理の推進（0913）

ごみ処理施設の延命化、廃止、縮小を考慮した施設マネジメントを行うとともに、廃棄物処理業者等に対する指導・監視による適正処理を徹底するなど、生活環境の保全に取り組みます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0911	松山市役所の温室効果ガス排出量 (万t-CO ₂)	10.2 [R4年度]	7.3 [R10年度]
0912	ごみのリサイクル率(%)	17.6 [R5年度]	25.4
0913	廃棄物許可業者等に対する行政処分件数 (件)	0 [R5年度]	0

施策092：自然と共生するまちづくりの推進

●施策のねらい

- ・ 気候変動や生物多様性など、環境に関する様々なテーマについて、市民の理解を深めるとともに、市民や事業者の美化活動を推進します。
- ・ 市内の豊かな自然を守り、生物多様性を保全します。
- ・ 大気や水質の状態を監視し、良好な生活環境を守ります。

●主な取組

(1)環境教育や美化活動の推進（0921）

市民の環境意識を高めるため、幅広い世代を対象に環境教育を行うとともに、市民大清掃や様々な美化活動などを通して、美しいまちづくりを進めます。

(2)豊かな自然環境と生物多様性の保全（0922）

希少動植物や自然に関する講座・イベントなどを通して、自然環境に対する関心を高めるとともに、県と連携して生態系に影響を及ぼす外来生物対策を進めます。

(3)生活環境の保全（0923）

事業者への排出基準遵守等の指導や市民への浄化槽の適正な管理指導などを通して、市民の生活環境に直結する、大気、水質等の環境基準の達成に努めます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
0921	環境に関する講座、イベント数（回）	85 [R5年度]	97
0922	自然に関する講座、イベント数（回）	17 [R5年度]	23
0923	光化学スモッグ注意報の発令日数（日）	0 [R5年度]	0

政策10

安全と安心をつなぐ【安全・安心】

【政策別未来像】災害への備えがあり、安心できる

●政策指標

・市民の実感指標

指標名	基準値
日頃から災害に備えていると思う市民の割合（％）	54.5 [R 6年度]

・客観指標

指標名	基準値	目標値 (R 11年度)
防災士数（人）※累計	9,526 [R 5年度]	15,000

●未来像を実現するために求められる視点

- ・災害発生時にも迅速かつ的確な対応ができる体制の更なる充実
- ・家庭内の防災対策の啓発
- ・国や県、関係機関のほか、消防団や自主防災組織等との連携の強化
- ・世代や職域に応じた全世代型防災教育の推進
- ・幅広い世代を対象とした、交通安全教室などの交通安全啓発活動の実施
- ・高齢者や若年者を中心とした、消費者被害の防止のための啓発活動や消費者教育の実施

●未来像の実現に向けて皆さんに取り組んでほしいこと

【市民】

- ・避難所等の確認や防災訓練への参加、非常用持出袋の準備や家庭内備蓄、家具転倒防止対策など、日頃から災害へ備える。
- ・交通マナーを守り、交通安全を心がける。
- ・「えひめ救急電話相談＃7119」の利用などによって、救急車の適正利用を心がける。

【事業者】

- ・災害時の対応や従業員の安全確保のため、事業所での防災教育を推進する。
- ・被災後の業務が早期に再開できるよう、業務継続計画を策定する。

【関係団体】

- ・防災、火災予防、交通安全、消費者被害等について啓発活動や教育活動を行う。

●施策

施策101：地域の防災力向上

●施策のねらい

- ・ 災害発生時に、迅速かつ適切な対応が取れるよう庁内体制を強化するほか、円滑な対応に向け、日頃から国や県、関係機関や自主防災組織などとの連携を図ります。
- ・ 学校や地域、施設などでの防災対策を率先する防災リーダーを育成するため、全世代型防災教育を進めます。
- ・ 市民の迅速かつ的確な避難行動を促進するため、防災関連情報を周知するとともに、地域防災の担い手の育成や、避難行動要支援者などの避難支援を計画的に進めます。

●主な取組

(1)危機管理体制の強化（1011）

職員の危機管理意識や対応能力等の向上、緊急情報伝達体制の充実に加えて、国や県、関係機関との連携強化を図ります。また、国や県の防災計画やガイドライン等を踏まえた計画・マニュアルの見直し、防災マップ等の更新、備蓄物資等の充実や防災関連施設の整備を進めます。

(2)全世代型防災教育の推進（1012）

災害発生時に市民一人ひとりが適切に行動し、犠牲者「ゼロ」を目指して、小学生から高齢者まで、世代や職域に応じた全世代型防災教育を進めます。

(3)地域防災の担い手の確保・育成（1013）

自主防災組織の活動の活性化や地域防災の担い手の確保・育成を目的として、定期的な防災訓練や研修会などを実施し、防災士のスキルアップを図ります。

(4)防災・減災意識の向上（1014）

木造住宅や大規模建築物など民間の建築物の所有者に耐震化の重要性を周知し、耐震化を支援するとともに、避難路などの安全性を確保します。また、障害者手帳の等級や要介護度、災害発生時の居住地の危険性等を考慮し、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進めます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
1011	食料備蓄数（食）	124,900 [R5年度]	124,900
1012	防災士フォローアッププログラムの受講者数（人）※累計	-	2,400
1013	各自主防災組織による防災訓練の実施総数（回）	745 [R5年度]	800
1014	耐震改修を実施した住宅の戸数（件）※累計	668 [R5年度]	1,058

施策102：消防・救急・救助体制の整備

●施策のねらい

- ・ 消防体制の充実に向けて、必要な人員・車両・資機材の確保と適切な運用を進めるとともに、松山圏域の消防本部等との連携強化に取り組みます。
- ・ 火災予防に向けて、住宅用火災警報器の設置促進や建築物等の防火安全の取組などを進めます。
- ・ 高齢化の進行や熱中症の増加等で増え続ける救急需要に適切に対応する取組を進めます。
- ・ 地域の消防力強化に向けて、消防団や女性防火クラブ、防火連絡協議会の活動に取り組みます。

●主な取組

(1)消防・救急・救助体制の充実（1021）

最新の機能や技術を備えた消防車両や救助資機材を計画的に更新・整備するほか、愛媛県緊急消防援助隊合同訓練等を実施し、消防機関の連携活動能力の向上などに取り組みます。

また、「えひめ救急電話相談#7119」の啓発等で、救急車の適正利用を促すとともに、救急車の効果的な運用を行い、現場到着時間短縮に取り組みます。

(2)地域消防力の強化（1022）

地域防災の中核となる消防団を充実・強化するため、幅広い世代の消防団員を確保し、計画的に消防団車両や資機材を更新・整備するとともに、教育訓練等を実施します。

また、松山市地域防災協議会に所属する各団体と連携して訓練や研修会、意見交換等を定期的の実施し、総合的な地域消防力の向上に取り組みます。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
1021	えひめ救急電話相談#7119事業の利用者数 (件)	7,800 [R5年度]	10,560
1022	消防団員訓練等参加延べ人数(人) ※累計	11,200 [R5年度]	78,400

施策103：防犯・交通安全・消費者保護の推進

●施策のねらい

- ・ 安全安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の更新など防犯対策に取り組めます。
- ・ 幅広い世代を対象に交通安全教育・教室を展開し、交通事故の発生を防止します。
- ・ 悪質商法や特殊詐欺の消費者被害を未然に防ぐため、特に高齢者向けの消費生活講座（出前講座）などの啓発活動や関係機関との情報共有・連携を進めます。

●主な取組

(1)犯罪のないまちづくり（1031）

L E D防犯灯の設置などを支援し、夜間の犯罪・事故の未然防止を図るほか、不審者情報などを市民に周知し、安全で安心なまちづくりを推進します。

また、犯罪や非行歴のある者等が地域社会で孤立することなく社会復帰できるよう、更生保護関係団体や国・県と連携し、住居や就労の確保等の支援活動を行うことで、再犯防止を図ります。

(2)交通安全対策の充実（1032）

幅広い世代を対象とした交通安全教室や、関係機関・団体と連携した啓発活動を継続して実施し、交通安全対策の充実を図ります。

(3)消費者被害の未然防止（1033）

特殊詐欺を想定した訓練や出前講座などを通じた情報発信や特定計量器の検査などを実施することで、消費者被害の未然防止を図ります。

また、関係機関や団体と連携した相談体制を充実するとともに、複雑・多様化する消費生活相談に適切な支援ができるよう、担当職員や相談員のスキルアップを図ります。

●成果（アウトカム）指標

主な取組	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
1031	刑法犯検挙者数中の再犯者数（人）	385 [R5年度]	283
1032	交通事故の発生件数（件）	1,020 [R5年]	850 [R11年]
1033	消費生活講座（出前講座）参加者数（人）	2,977 [R5年度]	3,000